

意見検討結果一覧表（実施期間：令和3年7月12日～令和3年7月26日）

反映状況		
A	(反映)：意見の内容の一部を反映し、計画案を修正したもの (趣旨同一)：意見と計画案の趣旨が同一であると考えられるもの	10
C	(参考)：計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とする (その他)：A・Cの対応のいずれも困難であると考えられるものや計画案の内容に関する質問など	5
D		0

■大槌町過疎地域持続的発展計画

No.	該当部分	頁(旧)	意見内容(趣旨)	検討結果	反映状況
1	④安全性と快適性を高めるまちづくり	7	国では2050年までCO2排出量をゼロにする計画を立てており、関連事業の補助金も活用できることから、町内の遊休地や空き地を活用し、地域資源である太陽光発電を目指し大槌町地域新電力プランを策定すべきであると考えます。	国や他地域の計画案を情報収集しております。ご意見は、個別施策を検討する際の参考とさせていただきます。	C
2	④安全性と快適性を高めるまちづくり	7	町内に電力事業会社を設立(雇用の場の確保)、地元資源活用電力をつくり、公共用施設等に格安電力を供給(小売供給)するのはいかがでしょうか。このことにより、SDGsの推進にも寄与できると考えます。	ご意見は、個別施策を検討する際の参考とさせていただきます。	C
3	④安全性と快適性を高めるまちづくり	7	岩手県沿岸自治体では養殖ワカメやコンブが吸収するCO2吸収量を企業や団体に買い取ってもらう環境保全活動を展開しています。CO2吸収量を買い取る企業や団体は環境保全活動としてPRができ、自治体は収益を養殖業活性化などの充てられる相互利益の関係を構築することができると考えます。	ご意見は、個別施策を検討する際の参考とさせていただきます。	C
4	(10)過疎地域持続的発展特別事業	17	町内農産物の地産地消に向けた販売機会の確保や農業者の所得向上と販売機会の確保のため、復幸きりり商店街跡地などで軽トラックに、採れたて野菜などを積み込んだ「軽トラ市」を開催し、市内農産物の出荷額と地産地消割合の向上を検討してはどうか。	地産地消の取り組みとして、学校給食への町内食材の提供や、産直施設での地場産品試食会等を実施しております。ご意見は、「3 産業の振興(2)その対策(ア)農業」の趣旨同一と捉えております。	B
5	(4)①産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり (5)②UIターン者数の増加	6, 8	「産業の活性化を最優先多くの人や企業を大槌に... UIターン者数増加」について、コンセプトはいいが、実施面ではいつも具体性がないことが問題だと思います。具体施策を視野に入れた計画とすべきではないでしょうか。	「2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成(3)計画」へ、現在進めている、地域おこし協力隊協働事業を追記しました。具体的な施策については、引き続き検討して参ります。	A
6	(7)防災体制	29	防災マップの整備は必要だが、その中に記載されている避難場所や避難所へ行くための避難道路が整備されていることが重要であると考えます。10年前の地域住民がうたっていた避難道路の整備が実施されず、複数人の犠牲者が出たことを忘れてはいけないと思います。	防災マップの更新と合わせて、避難場所や避難所へ向かう経路等を再確認し、避難場所や避難所の見直しを行う予定としております。ご意見は、「6 生活環境の整備(2)その対策(キ)防災体制」及び「11 地域文化の振興等(2)その対策」の趣旨同一と捉えております。	B
7	(4)地域の持続的発展の基本方針	6	震災で多くの町民を亡くしてしまった大槌町の場合、まずは災害に強いまちづくりをハード、ソフト両面で進めていくべきで、これが最低条件ではないかと思えます。	東日本大震災体験の伝承を推進するため、語り部等の人材育成やコンテンツ開発機能を有するプラットフォームの構築に取り組んでおります。ご意見は、「6 生活環境の整備(2)その対策(キ)防災体制」及び「11 地域文化の振興等(2)その対策」の趣旨同一と捉えております。	B
8	(4)地域の持続的発展の基本方針	6	若い人の話を聞くと、祭りや郷土芸能、音楽、スポーツなどの活動が、この町をつなぎとめていると感じます。ならば町として最大限支えていくべきだと思います。	町の郷土芸能団体へ、保存に向けた活動支援や担い手育成活動への支援を行っております。復興事業で整備した分館(安渡・赤浜・吉里吉里)や運動施設(野球場・サッカー場・テニスコート)では、スポーツや文化活動など住民活動に活用されているところです。ご意見は、「9 教育の振興(2)その対策(イ)集会施設(ウ)体育施設」の趣旨同一と捉えております。	B

No.	該当部分	頁 (旧)	意見内容(趣旨)	検討結果	反映状況
9	(4)地域の持続的発展の基本方針	6	きらり商店街跡地活用の検討が進められていますが、町の文化発信の場を整備することで若い人が活躍できる場を作るのもいいのではないのでしょうか。多少赤字になっても町が補助を出してもいいと思います。	町の文化発信については、郷土芸能祭や町民文化祭などを通じて、文化交流センターなど、多くの町民が集まりやすい場所で実施して参りたいと考えております。 ご意見は、個別施策を検討する際の参考とさせていただきます。	C
10	(4)地域の持続的発展の基本方針	6	中高生を対象にどんな就職先があれば地元に残ったり、Uターンしたりするのかとアンケートや聞きとり調査をした方がいいと思います。「いい就職先」とは職種なのか、給与なのか、今の若者は何を重視しているのか把握できれば、施策も考えやすいと思います。	沿岸広域振興局において毎年高校三年生を対象に「就職・進学調査」を実施しており、就職にあたって重視している項目等がレポートされております。これらのデータを今後施策に生かしてまいります。 ご意見は、「2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成(2)その対策」の趣旨同一と捉えております。	B
11	(4)地域の持続的発展の基本方針	6	就職先について、通勤圏内である釜石市も合わせて検討すべきで釜石市と連携して施策を行ってはいかががでしょうか。	釜石市及び県沿岸広域振興局、ハローワーク釜石と雇用情勢等について、毎月定例で情報交換を行っており、施策についても連携して取り組んでまいります。 「2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成(2)その対策」の趣旨同一と捉えております。	B
12	(4)地域の持続的発展の基本方針	6	病院(医師)の充実、移動のしやすさ(公共交通の充実)などを検討してはいかがでしょうか。	県国保連と連携し、地域医療従事を希望する医学生を対象に修学資金の貸付を行い、圏域内の医師確保に取り組んでおります。 また、町では今年度、今後を見据えた持続可能で効率的な公共交通体系を構築するため、今後5年間で計画期間とする「大槌町地域公共交通計画」の策定に取り組んでおります。 ご意見は、「8 医療の確保(2)その対策」及び「5 交通施設の整備、交通手段の確保(2)その対策(エ)交通手段の確保」の趣旨同一と捉えております。	B
13	(4)地域の持続的発展の基本方針	6	Uターン者の住まいの確保も重要であると考えます。町内の不動産業者や建築業者と連携して空き家や定住促進住宅のリフォームなどではどうか。町営住宅についても、県や国にかけ合って活用できるように検討してほしいと思います。	町では空き家対策として、片付け支援補助金、リフォーム支援補助金を交付しております。町営住宅については、公営住宅法施行令で定める条件を満たしたUターン者の入居が可能です。 ご意見は、「2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成(2)その対策」及び「6 生活環境の整備(2)その対策(カ)住環境」の趣旨同一と捉えております。	B
14	5 交通施設の整備、交通手段の確保	22	中山間地域や防集高台の住民は移動が困難のため、コミュニティバス、オンデマンドバスを今すぐにも実施すべきと考えます。財源として、ふるさと納税を活用してはどうか。寄付者には、大槌に来た時にコミュニティバスやオンデマンドバスを無料で利用できるようにする等行うのが良いと考えます。	町では今年度、今後を見据えた持続可能で効率的な公共交通体系を構築するため、今後5年間で計画期間とする「大槌町地域公共交通計画」の策定に取り組んでおります。 ご意見は、「5 交通施設の整備、交通手段の確保(2)その対策(エ)交通手段の確保」の趣旨同一と捉えております。	B

No.	該当部分	頁 (旧)	意見内容(趣旨)	検討結果	反映状況
15	5 交通施設の整備、交通手段の確保	22	既存のバス路線は、町民の通院や買い物用としてだけでなく足の無い観光客(三陸鉄道など公共機関を利用する人)が「バスでぶらり旅」できるよう活用してもいいと思います。	既存のバス路線を活用して周遊ができるような観光コンテンツを検討するとともに、既存のバス路線を観光客に活用いただけるようPRに取り組んでまいります。 また、町では今年度、今後を見据えた持続可能で効率的な公共交通体系を構築するため、今後5年間で計画期間とする「大槌町地域公共交通計画」の策定に取り組んでおります。ご意見は、「3 産業の振興(2)その対策(オ)観光又はレクリエーション」及び「5 交通施設の整備、交通手段の確保(2)その対策(エ)交通手段の確保」の趣旨同一と捉えております。	B
16	4 地域における情報化	20	新型コロナの影響で拠点を持たずにオンラインで仕事をする人が増えています。ワーケーションできる場所の整備が必要だと思えます。浪板のアムウェイ施設のように、ネット環境がととのったオシャレな施設を整備したり、大槌町には海・山、両方あるので海の好きな人には海を眺めたり、サーフィンしたりできる施設を整えてはいかがでしょうか。また、山好きな人には、農作業をしたり、山の手入れをしたりできる施設を整えるなど。 ちなみにクマの出没や被害が相次いでいるが、山に食べ物があれば下りてこない動物との共存、里山の維持、NPO吉里吉里国が行う山の手入れ、ジビエなどの活動と組み合わせ、「大槌町版SDGs」と称したワーケーションに取り組んではどうでしょうか。	ご意見は、個別施策を検討する際の参考とさせていただきます。	C